

第4章 調査室員の研究教育実績

(1) 端野晋平 准教授

a. 論文

端野晋平、渡来文化の形成とその背景、列島初期稲作の担い手は誰か、すいれん舎、東京、pp. 79-124、2014年3月

b. 研究発表

端野晋平、列島稲作開始期の研究の現状について、考古フォーラム蔵本5月例会、徳島大学埋蔵文化財調査室、2013年5月

c. 授業

東アジア考古学概論Ⅰ（全学共通教育）

埋もれた文化遺産Ⅰ（全学共通教育）

東アジア考古学概論Ⅱ（全学共通教育）

埋もれた文化遺産Ⅱ（全学共通教育）

(2) 遠部 慎 助教（2013年8月転出）

a. 論文

遠部 慎、アースデー香川 in 豊島 2013、アースデーかがわ in 豊島実行委員会、2013年5月

遠部 慎、2012年の考古学界の動向 縄文時代 中国・四国、考古学ジャーナル、No. 642、pp. 49-51、ニューサイエンス社、2013年5月

b. 研究発表

遠部 慎、豊島における近現代の考古学的研究、豊島学（楽）会第7回研究発表会要旨集、豊島学（楽）会、2013年4月

遠部 慎・中沢道彦・金姓旭、縄文時代における炭化球根類の炭素14年代測定、日本文化財科学会第30回大会研究発表要旨集、日本文化財科学会、pp. 194-195、2013年7月

遠部 慎、アースデーかがわ in 豊島におけるフィールドワーク、瀬戸内海研究フォーラム in 山口、瀬戸内海研究会議、p. 36、2013年8月

c. 外部資金

平成24年度福武学術文化振興財団、瀬戸内海文化研究・活動支援助成 「豊島」の近現代の考古学的研究

(3) 山口雄治 特任助教（2013年7月転出）

a. 論文

Kontani, R., Sudo, H., Yamaguchi, Y., Hayakawa, Y.S., Odaka, T. (2014) An archaeological survey in the vicinity of Ku^ltepe, Kayseri Province, Turkey. In: Atici, L.,

Kulakoğlu, F., Barjamovic, G., Fairbairn, A. (eds.) Current Research at Kuştepe-Kanesh: An interdisciplinary and integrative approach to trade networks, internationalism, and identity. Journal of Cuneiform Studies Supplemental Series, 4, Lockwood Press (the American Schools of Oriental Research), 95-106.

b. 研究発表

須藤寛史・山口雄治・早川裕弐・小高敬寛・紺谷亮一、中央アナトリア、青銅器時代の地域構造、西アジア考古学会第18回大会、東京大学、2013年6月

小高敬寛・山口雄治・紺谷亮一、トルコ共和国カイセリ県南東部の移牧・遊牧と夏営地跡、西アジア考古学会第18回大会、東京大学、2013年6月

山口雄治・中村 豊・遠部 慎、徳島市庄・蔵本遺跡の調査成果、考古学研究会岡山例会、岡山大学、2013年6月

c. 外部資金

＜株式会社パレオ・ラボ＞若手研究者を支援する研究助成（第8期）、C14年代測定を利用した中央アナトリア前期青銅器時代における土器編年の構築と地域間交流に関する年代学的研究、2012年9月～2013年8月

(4) 三阪一徳 特任助教 (2013年10月着任)

a. 論文

三阪一徳、土器からみた弥生時代開始過程、列島初期稲作の担い手は誰か、pp.125-174、2014年3月

b. 研究発表

三阪一徳、土器成形方法に関する一考察、朝鮮半島南部の新石器・青銅器時代移行期を事例として、平成25年度九州史学会考古学部会、2013年12月

三阪一徳、土器製作技術からみた朝鮮半島南部における新石器時代から青銅器時代への移行、考古フォーラム蔵本2月例会、徳島大学埋蔵文化財調査室、2014年2月

c. 授業

考古学購読Ⅱ（九州大学・非常勤）、2013年12月9日～2013年12月13日

(5) 石丸恵利子 特任助教 (2013年12月着任、2014年3月転出)

a. 論文

石丸恵利子、上東原遺跡出土のウマについて、上東原遺跡・大下遺跡、県道太田上町志度線道路改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告、香川県教育委員会、2014年3月

田嶋正憲・石丸恵利子・白石純・古瀬清秀、彦崎貝塚築都度の縄文時代遺物－広島大学文学研究科考古学研究室所蔵の池田コレクション－、岡山市埋蔵文化財センター研究紀要、第6号、岡山市教育委員会、2014年3月

石丸恵利子、長門国府跡（金屋地区）から出土した毛髪炭素・窒素安定同位体分析、研究紀要、第

18号、下関市立考古博物館、2014年3月

b. 研究発表

石丸恵利子、同位体分析による動物資源利用の解明、考古フォーラム蔵本3月例会、徳島大学埋蔵文化財調査室、2014年3月

c. 外部資金

科学研究費補助金（挑戦的萌芽研究）、同位体分析による日本列島 貝の道の解明（研究代表者）

（端野晋平）